

2018年に挑戦したい「自己研鑽」意識調査 人気TOP3は、資格取得、語学、エクセルやワードのPCスキル。

—『エン転職』ユーザーアンケート調査 結果発表—




人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）が運営する「入社後」までを見据えた日本最大級の総合求人・転職支援サービス『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）上で、ユーザーを対象に「自己研鑽」についてアンケートを実施。3,264名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

調査結果 概要

- ★ 2018年にやってみたい自己研鑽。
人気トップ3は資格取得、語学、エクセルやワードのPCスキル。
- ★ 現在53%の方が自己研鑽に取り組んでいると回答。
自己研鑽に取り組んでいる方が多い職種は「専門職」「IT技術者」「企画・事務」。
- ★ 自己研鑽の目的、トップ3。
「新しいことへのチャレンジ」「今後のキャリア選択肢拡大」「今の仕事に活かす」。
20代は「転職活動への備え」がトップ3入り。

■ 調査結果 詳細

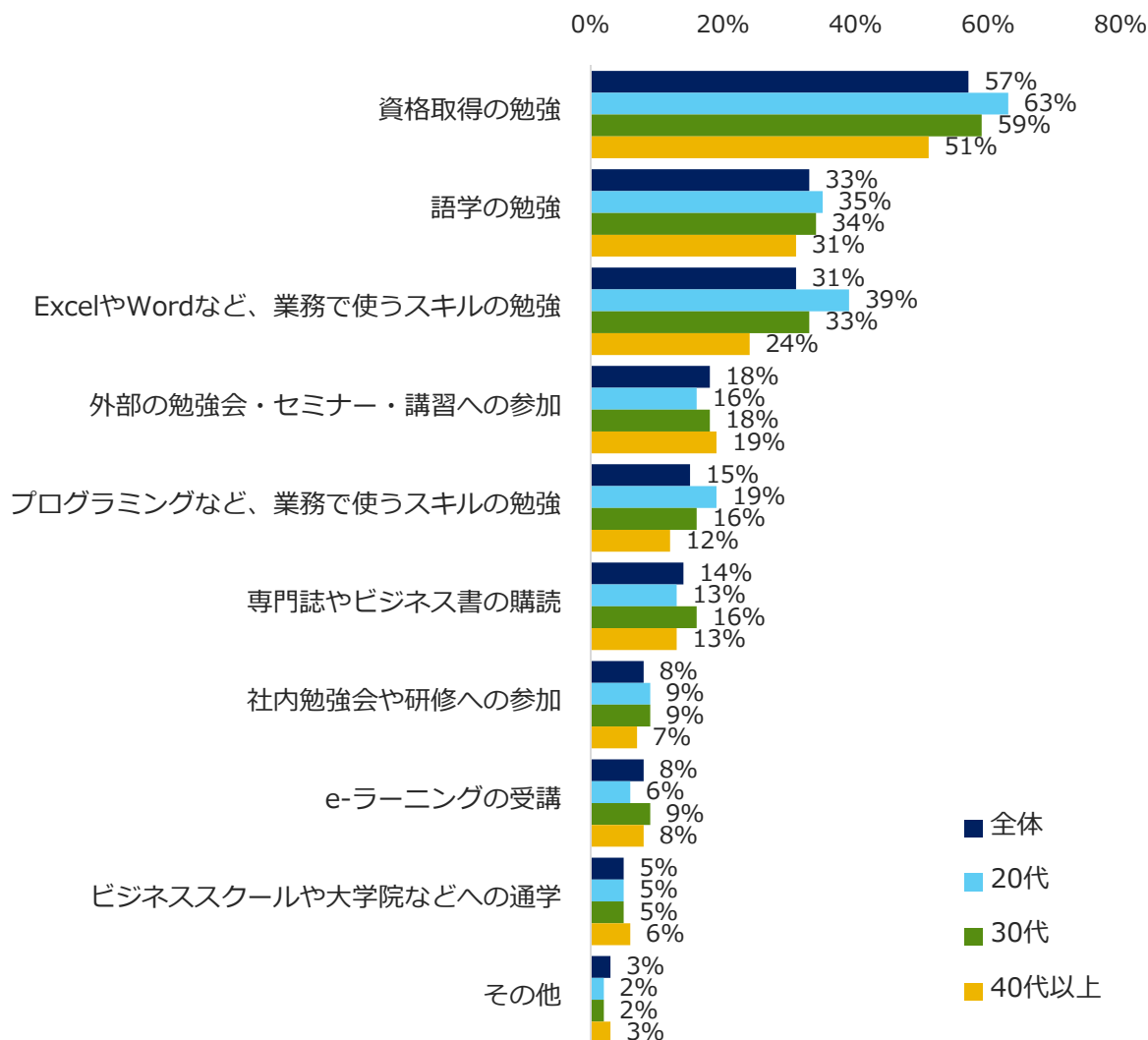
1：2018年にやってみたい自己研鑽。 人気トップ3は資格取得、語学、エクセルやワードのPCスキル。（図1）

	資格取得の勉強 (57%)	「2018年にやってみたい自己研鑽」をエン転職のユーザーに伺いました。
	語学の勉強 (33%)	第1位は「資格取得の勉強」（57%）、第2位が「語学の勉強」（33%）、第3位が「ExcelやWordなど、業務で使うスキルの勉強」（31%、20代は39%で第2位）でした。
	ExcelやWordなど、業務で使うスキルの勉強 (31%)	

「資格取得の勉強」を選んだ方は、「何か専門的な資格があれば、転職には有利だと思った」（23歳女性）、「何らかの資格があれば、転職に有利に働くと考えたため。また、転職先の業務に活かせなくても、学習意欲があることはアピールできると感じたため」（26歳男性）「資格があればスキルを証明しやすいから」（31歳女性）などのコメントが寄せられています。

「語学の勉強」を選んだ方は「以前から語学を勉強し直したいと考えており、資格として履歴書に書けるような形にしたいと考えているため」（29歳女性）「これからどの職業でも語学が必要になると思うので」（31歳男性）。「ExcelやWordなど、業務で使うスキルの勉強」を選んだ方からは、「タブレットやスマホの普及でPCスキルが下がっている新人が多いから」（26歳男性）「PCでの事務作業を効率良く終わらせるため」（31歳男性）といったコメントが寄せられました。

【図1】 2018年にやってみたい自己研鑽を教えてください。（複数回答可）

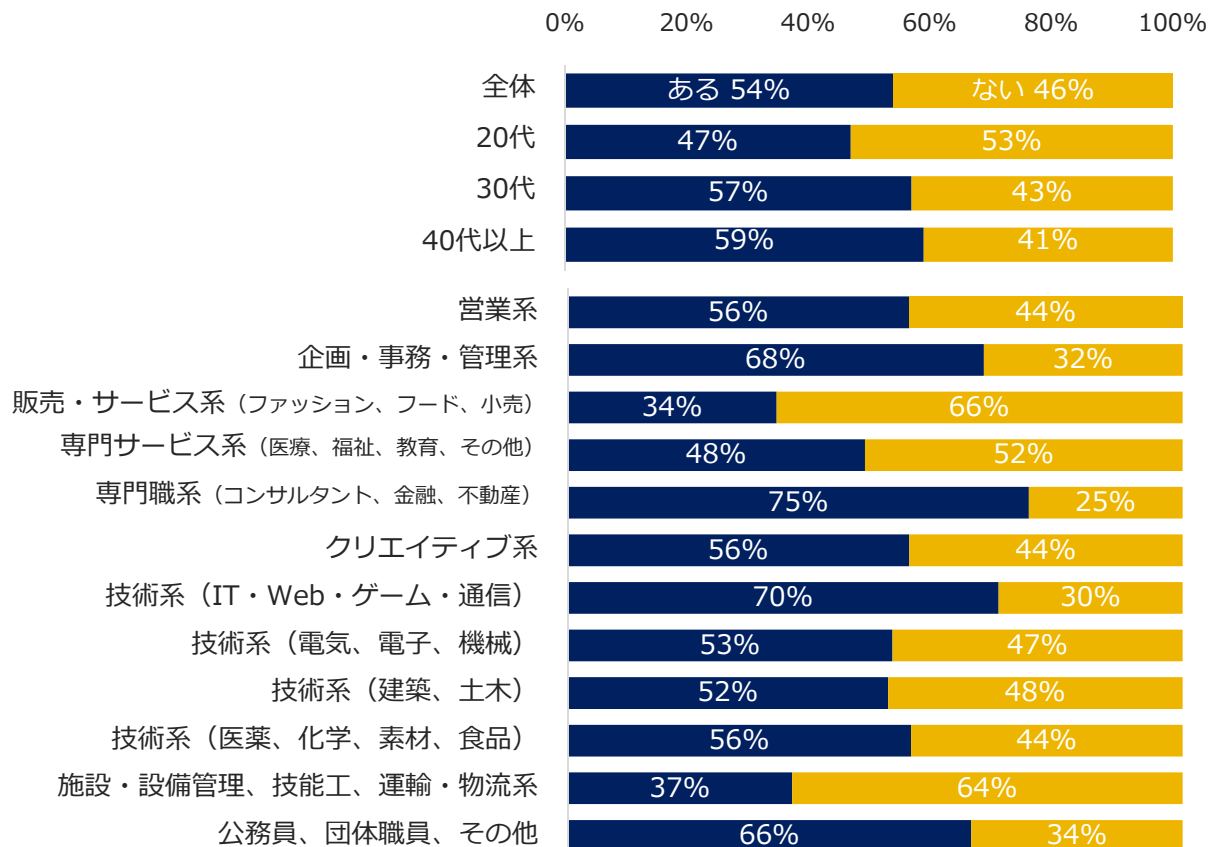


2：現在53%の方が自己研鑽に取り組んでいると回答。自己研鑽に取り組んでいる方が多い職種は「専門職」「IT技術者」「企画・事務」。（図2・図3・図4・図5）

「自己研鑽として取り組んでいることはありますか？」と質問をすると、54%の方が「ある」と回答しました。年代と比例して、実施率が上昇します。職種別の実施率は、第1位が「専門職系（コンサルタント、金融、不動産）」（75%）、第2位が「技術系（IT・Web・ゲーム・通信）」（70%）、第3位が「企画・事務・管理系」（68%）。自己研鑽をしている方がもっとも少ない職種は「販売・サービス系（ファッション、フード、小売）」（34%）でした。

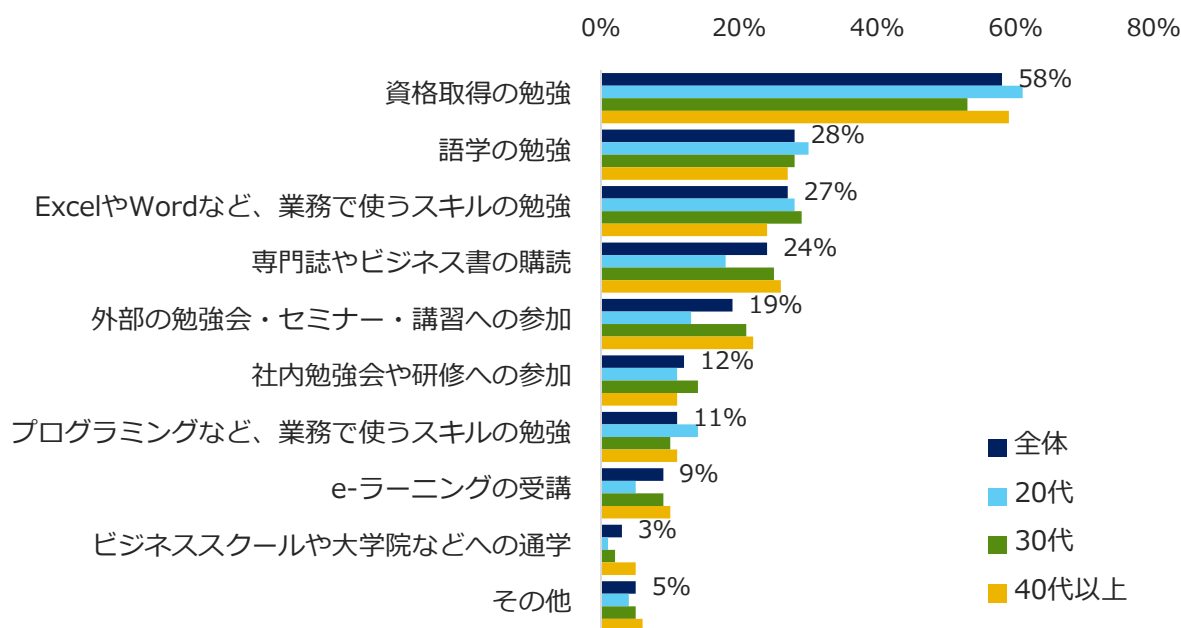
「自己研鑽で取り組んでいること」は、第1位が「資格取得の勉強」（58%）、第2位が「語学の勉強」（28%）、第3位が「ExcelやWordなど、業務で使うスキルの勉強」（27%）でした。自己研鑽に費やす時間は「週に1～2時間未満」（41%）、費やす金額は「5,000円未満」（52%）がもっとも多いようです。40代以上は金額・時間ともに一番多く費やしています。

【図2】 自己研鑽として取り組んでいることはありますか？

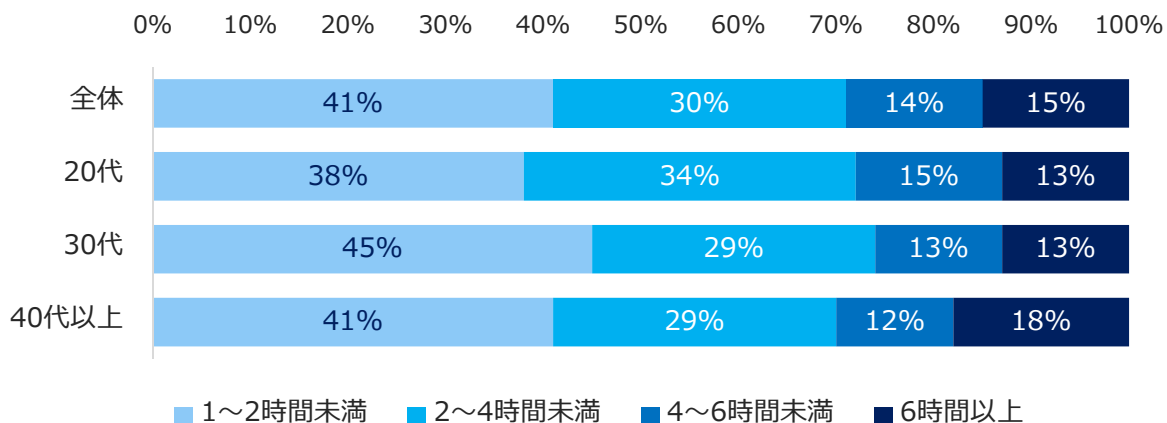


※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない

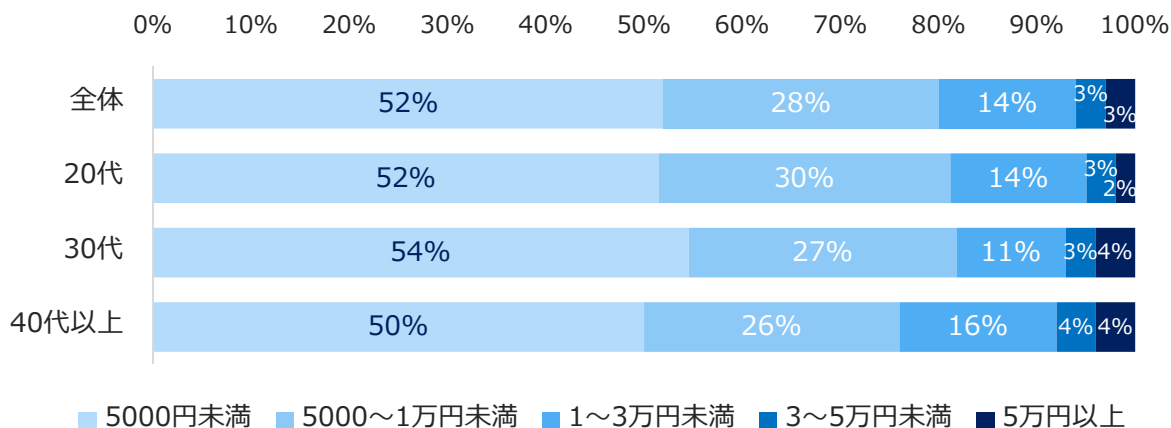
【図3】 自己研鑽に取り組んでいる、と回答した方に伺います。取り組んでいることを教えてください。(複数回答可)



【図4】自己研鑽に取り組んでいる、と回答した方に伺います。
 自己研鑽にかかる時間は1週間にどのくらいですか？



【図5】自己研鑽に取り組んでいる、と回答した方に伺います。
 月間で自己研鑽にかかる金額はいくらぐらいですか？



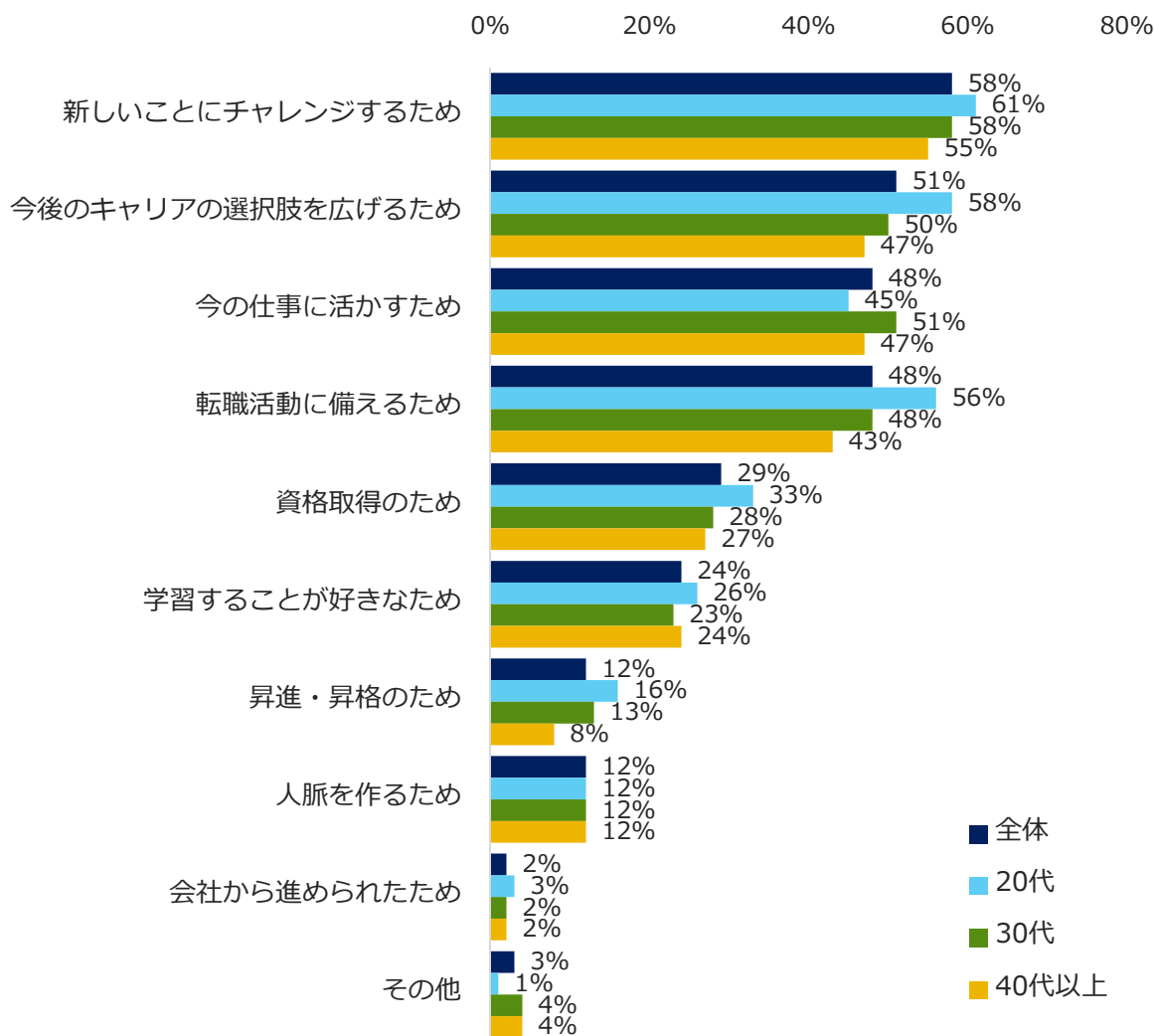
※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない

3：自己研鑽の目的、トップ3。「新しいことへのチャレンジ」「今後のキャリア選択肢拡大」「今の仕事に活かす」。20代は「転職活動への備え」がトップ3入り。（図6）

「自己研鑽の目的」を伺いました。第1位が「新しいことにチャレンジするため」（58%）、第2位が「今後のキャリアの選択肢を広げるため」（51%）、第3位が「今の仕事に活かすため」（48%）という結果になりました。20代に絞ると「転職活動に備えるため」（56%）が第3位に上昇します。

20代からは「今の仕事とは別の新しい分野にかなり興味があるため、将来的に業界を変えても活かせるような学習をしていきたいから」（26歳男性）「資格習得で出来ることを増やし、自分自身の価値を高めることで現在の会社での評価や、転職活動を有利に進められると考えている」（27歳男性）といったコメントが挙がりました。

【図6】自己研鑽に取り組んでいる、と回答した方に伺います。自己研鑽の目的を教えてください。
 (複数回答可)



【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査期間：2017年11月30日～12月26日
- 調査対象：『エン転職』（<https://employment.en-japan.com/>）利用者
- 有効回答数：3,264名

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本、松田 <https://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
 TEL：03-3342-6590 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com